



夏期の技術対策・病害虫防除について

1 排水対策の徹底と、干ばつ対策の実施について

(1) 排水対策

まとまった降雨等による湿害回避のため、**排水溝の点検・整備等を行いましょ**う。
特に、中耕培土後、溝や周囲明渠が排水口に連結され、十分機能するか確認しましょ

(2) 干ばつ対策

暗渠が設置されているほ場では、まとまった降雨が無い限り**暗渠を閉め、土壤水分を逃がさない**ようにしましょ

また、代表的なほ場には地下水位を目視できる**縦穴**を設けましょ。地下水位が**70cm以下に下がる場合は、畝間かん水等**で干ばつ対策を行いましょ。



縦穴施工の様子



地下水位目視縦穴

2 病害虫防除は万全に！

1回目の防除は開花期の4週間後、2回目は9月上旬に行います。
エンレイの開花期が平年並(7月24日)とすると、1回目の防除は8月21日頃になります。

【紫斑病1回・殺虫剤2回防除による防除例※】

開花期をそれぞれで確認し、
防除適期を把握しましょ

1回目防除
殺虫・殺菌剤
(開花4週間後)

2回目防除
殺虫剤
(9月上旬)

紫斑病感染時期(開花後10~40日)

子実害虫加害時期(莢伸長~子実肥大期)

【害虫の発生に特に注意する時期】→発生が目立つ場合は臨時防除の検討を！

| 7月 | | | 8月 | | | 9月 | | |
|-------------|------------|----|----|---------------|----|-------------|----|----|
| 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| ← アブラムシ類 → | | | | | | | | |
| | ← ウコノメイガ → | | | ← フタスジヒメハムシ → | | ← マメシクイガ等 → | | |
| ← 食葉性チョウ類 → | | | | | | | | |

※ 紫斑病の1回防除体系は、アミスター20フロアブルを使用。他薬剤使用の場合は、2回散布を基本とする。
※※開花期: 全株数の**40~50%**が開花始め(主茎上で1花でも開花した時)に達した日。

| 商品名 | 対象病害虫 | 希釈倍数・使用量 | 使用方法 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 散布液量 | アズキストロピンを含む農薬の総使用回数 |
|--------------|-------|------------|---------------|---------|---------|---------------------|---------------------|
| アミスター20フロアブル | 紫斑病 | 2000~3000倍 | 散布 | 収穫7日前まで | 2回以内 | 100~300 μ l/10a | 2回以内 |
| | | 16~24倍 | 無人ヘリコプターによる散布 | | | 800 μ l/10a | |

農薬使用の際は最新の登録状況やラベルを良く確認し使用しましょ。農薬は、平成28年6月22日現在の登録状況を掲載してましょ。